

速乾タイプ
特殊防サビ剤配合

アサヒペン

美しいツヤ長持ち

サビの上からそのまま塗れる

油性
超耐久

シリコン
アクリル
トタン用スーパー



紫外線に強い
汚れが付きにくい
優れた防サビ性
抜群の密着力

酸性雪、酸性雨、塩害に強い 高耐候性塗料

標準塗り面積(1回塗り)
28~35㎡ (タミ17~21枚分)
乾燥時間
夏期/2~3時間 冬期/5~8時間
塗り重ね時間の目安
夏期/1日以上 冬期/2日以上

3 kg

商品名	油性超耐久シリコンアクリルトタン用
品名	合成樹脂塗料
成分	合成樹脂(シリコンアクリル樹脂)、顔料、防サビ剤、紫外線劣化防止剤(HALS)、有機溶剤
特長	

- サビの上から直接塗れる、トタン用の高光沢塗料です。
- 1回塗りで仕上がりますので作業性が抜群です。
- 特殊強力防サビ剤がサビの進行を抑え、長期間素材をサビから保護します。
- 紫外線劣化防止剤(HALS)を配合していますので、長期間高光沢を維持し、耐候性が格段に優れています。
- 特殊シリコンアクリル樹脂を使用しているため、汚れが付きにくく、酸性雨・酸性雪・塩害から長期間トタン板を保護します。

用途

屋根、とい、ひさし、下見板、へいなどのトタン板、カラートタン、ガルバリウム鋼板、屋外の鉄部や木部(食器などの直接食品等が触れるような箇所や、常時水につかる、車のマフラーなど耐熱性が必要なところ、自動車・バイクの補修、床面、テーブルの天面には適しません)

塗装方法

- はがれかかった古い塗膜やボロボロと取れるようなサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
 - 塗る面のゴミや汚れ・カビを取り、充分に乾かします。油分やワックスはペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
 - 塗料が手につくところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
 - フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
 - うすめずにそのまま塗れるようにしてありますが、夏期など乾燥が速すぎて塗りにくいときは、ペイントうすめ液で少し(10%以内)うすめます。
 - あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色、乾燥性、下地への影響、密着性などを確かめてから塗ります。
 - コーナや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。広い面積の部分はコテバケ・ローラー・バケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることが出来ます。
 - 塗り重ねる場合は、夏期1日(冬期は2日)以上おいてから2回目を塗ります。
 - マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
- ※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

うすめ方

塗料の粘度が高くて塗りにくいときには、ペイントうすめ液(10%以内)でうすめて下さい。合成ボイル油では絶対にうすめないで下さい。

用具の手入方法

塗料が乾かないうちに、ペイントうすめ液・ハケ洗い液で洗って下さい。ハケについている塗料を新聞紙などでしきこき取ってから洗えば、うすめ液は少量ですみます。

保管上の注意

- 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
- 直射日光や火気のある場所、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- 残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

取扱い上の注意

- 表示の用途以外には使用しないで下さい。
- 火気のあるところでは塗らないで下さい。
- 体調が悪いときや、アレルギー・化学物質に敏感な人は、使用しないで下さい。
- 溶剤蒸気を吸入しないよう、目に入らないよう、また誤飲しないように注意して取扱して下さい。有機溶剤が含まれていますので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくして下さい。
- 取扱い中は必要に応じてマスクや保護メガネ、保護手袋(塗料が浸透しないもの)を使用して下さい。炎症を起こすことがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。
- 塗料が衣服につくと取れません。塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- 雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。
- 結露する時期には午後3時までに塗り終えて下さい。
- あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確かめてから塗って下さい。特殊なサイディング、コーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。
- 屋根を塗る場合は、降りる所が最後になるように順序を考えて塗って下さい。また転落事故のないよう充分に注意して作業して下さい。塗料が乾燥するまでは、たいへんすべりやすいので塗膜の上を歩かないよう注意して下さい。
- 新しいトタン板に塗る場合はすぐに塗らず、表面のツヤがにぶくなってから塗る方が密着力が増します。
- トタン板に塗装する場合はハガレの原因となりますので、サビドメ塗料で下塗りはしないで下さい。
- うすめすぎたり、うすく塗すぎると、充分な効果が得られない場合があります。
- 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。
- 塗り重ねる場合は夏期1日以上・冬期2日以上乾かしてから塗って下さい。乾燥が不十分な状態で塗り重ねると、塗膜がシワ状に浮き上がることがあります。
- コーラ・ビールを塗ってある上には、トタン用の銀をお使い下さい。
- 容器は塗料を使い切った後は、水性油性兼用塗料固化剤で固化するか新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてからゴミとして処分して下さい。
- 塗料が付着したボロ布などを丸めたまま放置すると、自然発火する恐れがありますので、廃棄するまで必ず水に浸けておき、そのままゴミとして処分して下さい。
- 塗料を移し替える場合は金属等の溶けない容器を使用して下さい。
- 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

危険	   
●引火性あり ●皮膚刺激 ●アレルギー・皮膚反応のおそれ ●臓器の障害 ●呼吸器への刺激のおそれ ●眠気やめまいのおそれ ●水生生物に非常に強い毒性	
救急処置	●目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

第2石油類/危険等級Ⅲ/火気厳禁/合成樹脂エナメル塗料(A-070)

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製
00-1511

●この容器は、うすめ液を加えてかき混ぜられるよう、多少は目につく程度に開けてあります。中身の塗料は正確な量目にはなりません。表示している色ツヤやおび容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なることがあります。

用途

屋根・といひさし・下見板・へいなどのトタン板、カラートタン、ガルバリウム鋼板、屋外の鉄部や木部



注意書きをよく読んでから使用して下さい。